

大学祭企画行事に向けての取組みと検討内容について

平成30年4月12日

【40期生 園芸学科として】

1 展示パネル、長机等の数量

	パネル (枚)	長机 (脚)	ワイヤーフック (本)
昨年度実績	20	10	10
今年度予定	20	10	10

※案① 昨年度と同数

2 ステージ発表 (学習成果発表委員) 園芸科40期で1発表 15分程度

テーマ	説明 (サブタイトル)	発表者
樹木に学ぶ	これまでの学習から、校外学習を中心に、パワーポイントで紹介する	

※学習成果発表委員会、情報委員で細案を検討

3 体験コーナーの企画と催し (企画運営委員)

催しの名称	内 容	数 量
竹で作ってみよう!	竹筒の花瓶 竹笛 カップ コースターなど、竹を材料にいろいろな物を作る。難易度に応じて、ある程度作っておく。	

※企画運営委員会で細案を検討

4 プレゼントの企画と催し内容 (企画運営委員)

催しの名称	内 容	数 量
花苗をプレゼント	マリーゴールドの花苗を一人1ポットプレゼントする。	400ポット用意

※企画運営委員会で細案を検討

(現在案)

- ・5月10日の必修講座が終わり次第、教室で全員がマリーゴールドの種蒔きをする。
- ・種蒔きをしたポット (22個) を各自で管理し、花が咲くまで育てた苗を当日プレゼントする。

【当日までに購入しておくもの】

- ・マリーゴールドの種 (3種類) 1, 296円 (購入済み)

- ・種まき培土 (400) 980円×4袋=3,920円
4ポットで10として640ポット分
- ・ポリポット黒 9cm 100個入り 158円×6=948円
600ポット 一人当たり22ポット
- 【企画運営委員会で準備しておくもの】
- ・ブルーシート、紙皿9個 (種を乗せる)
- 【各自持参するもの】
- ・種まきトレー (盆栽の種まき時にもらったもの)、移植ごて、軍手

5 展示作品 (一人1点)

※授業等で作った作品を展示する方向で検討。趣味等の作品は避ける。

案① 3月20日の授業で種を蒔いた盆栽を育て、その作品を展示する。展示の方法や、うまく育たなかった時にどうするかなどについては、今後検討

6 ステージでの余興について (別紙)

- ※ 時間割り当て 卒業生70分 在校生20分 (39・40期生各3学科 計6学科)
1学科あたりの出演時間が短いため、昨年度園芸科E9期生は、全員で琵琶湖周航の歌を歌われた。
- ・今年度は、出演の有無も含めて、余興企画運営委員会で検討し、原案を作成

7 大学祭にむけての学科のテーマ (各学年、各学科1題)

※昨年度 園芸科38期生

「育てる心 (育む心) ~空に星 花に水 人に愛~」

園芸科39期生

「縁迎 (園芸) の人との出会いに感謝」

学科のテーマ	説明 (サブタイトル)
「つくろう未来 守ろう自然 生命 (いのち) への共感」	生きとし生けるものへの共感こそが、豊かな未来を創造する基礎となる

報告者 【第40期 園芸学科 氏名 森野昭二】
 (4月12日提出のこと)

大学祭企画行事に向けての取組

39期生、40期生(園芸学科 北近江学科 健康づくり学科) サポート隊

●大学祭に向けてのテーマ・表題(各学年、各学科1題)

1 大学祭にむけての学科のテーマ(各学年、各学科1題)

テーマ	説明 (サブタイトル)
「つくろう未来 守ろう自然 生命(いのち)への共感」	生きとし生けるものへの共感こそが、豊かな未来を創造する基礎となる

2 体験コーナーの企画と催し

催しの名称	内 容
竹で作ってみよう!	竹筒の花瓶 竹笛 カップ コースターなど、竹を材料にいろいろな物を作る。難易度に応じて、ある程度作っておく。

3 プレゼントの企画と催し内容

催しの名称	内 容	数 量
花苗をプレゼント	マリーゴールドの花苗を一人1ポットプレゼントする。	400ポット用意

4 学習成果の発表(40期生) 一件15分程度(発表者は複数可)

テーマ	説明(サブタイトル)	発表者
樹木に学ぶ	これまでの学習から、校外学習を中心に、パワーポイントで紹介する	

5 課題学習成果の発表(39期生並びにサポート隊) 一件15分程度(発表者は複数可)

学習テーマ	説明(サブタイトル)	発表者